

通訳ガイドの経験 教壇で生かす

4/13 朝日

高校非常勤講師 雪田 博之

(青森県 66)

在は非常勤講師として高校に勤務して3年になる。

定年退職後に通訳ガイドを始め、東北や北海道で外国人観光客を案内していた。だが数年後、新型コロナウイルスの感染拡大により、入国する外国人が激減したことで私は職を失った。幸い退職前に携わっていた教職に戻ることができ、現

在は非常勤講師として高校に勤務して3年になる。教壇への復帰は以前にも増してやりがいを感じた。通訳ガイドの仕事で得た発想を普段の授業に生かすなど、現役時代には気づかなかった実践をしている。

コロナの影響が落ち着きつつある今年、外国クルーズ船が久々に

寄港した。旅行業者から業務依頼が来ているが、教師という仕事の魅力を再認識した今、ガイド業は少し縮小しようかと考えている。

だがせっかく身につけたスキルは生かしたい。外国人観光客の中には日本の学校に関心を持つ方もいる。今後は教職の傍ら、そのような人たちに素晴らしい日本の学校を誇りをもって案内することで、子どもたちとの国際交流にも一役買いたいと考えている。